

ワーク・ライフ・バランスの推進を！

—企業の持続的な成長のために—

少子高齢化による労働者の減少や社員の離職など、企業で抱えている悩みはありませんか？近年、「仕事」と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった「仕事以外の生活」との調和をとり、その両方を充実させていく「ワーク・ライフ・バランス」が注目されています。ワーク・ライフ・バランスの推進は、働く人にとっては生活の質の向上につながり、企業にとっては、新たな人材の獲得や離職率の減少につながる取り組みです。

今号では、国・県の各種認定制度を取得し、ワーク・ライフ・バランスを推進している先進企業の取り組みを紹介します。

皆さんの職場でも、できる取り組みから始めてみませんか。



ワーク・ライフ・バランスの取れた職場環境を整えることは、企業にとっても、従業員にとってもメリットの大きい取り組みです

理由①

人材確保に高い訴求力

近年、特に若年層においては、仕事はライフスタイルの中心ではなく、「生活するための手段」という考え方が広がっています。例えば就職活動をする学生は、職場に福利厚生や休暇制度の充実を求める傾向にあります。「ユースエール」や「ハッピー！パートナー」、「くるみん」など、国や県が先進的な取り組みを進めようと設けている制度の認定業者であるかどうかにも注目していますね。公私ともに充実した社会人生活をイメージできる企業が選ばれる傾向にあります。

理由②

離職率の減少に有効

新潟労働局の調査では、県内の新規学卒就職者の約3割が労働時間の長さや賃金、職場環境とライフスタイルの不一致などを理由に3年以内に離職しているという結果が出ています。入社後の離職率を減らすためには、自社が魅力ある職場であることだけでなく、労働条件や福利厚生、休暇制度などをPRするなど、入社前後のギャップを少なくすることが大切です。市内企業においても、各種認定制度の登録を進めてもらいたいと思っています。



ハローワーク上越 大嶋 公子さん

「ユースエール」認定企業 日鉄工材株式会社

【製造業】 | (川原町)



「ユースエール」とは、若者の採用・育成に積極的で、若者の雇用管理の状況などが優良な中小企業を厚生労働大臣が認定する制度です

【主な認定条件】

- ・「人材育成方針」と「教育訓練計画」を策定
- ・新卒者など正社員として就職した人の離職率が直近3事業年度で20%以下
- ・研修内容、メンター制度の有無、自己啓発支援制度などの公表 など



詳しくは

社員の夢の実現に 寄り添う職場環境づくりを

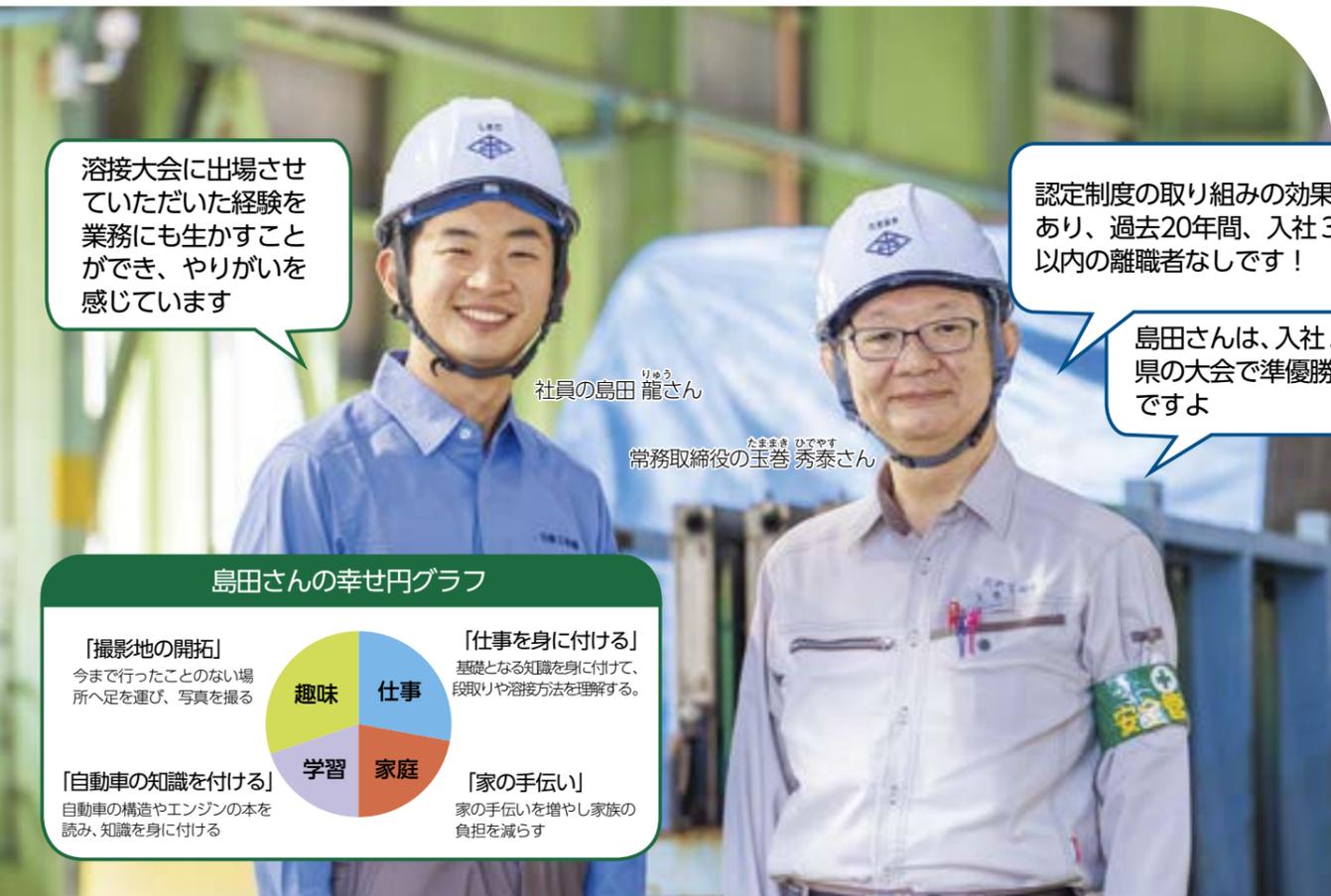
玉巻常務 若い社員をはじめ、社員一人一人が各々の人生でどんな夢を持ち、実現しようとしているのか、「幸せ円グラフ」を作成し掲示しています。社員同士が共有することで、互いの夢を応援し合える職場になっています。

また、3カ月に一度、「見える化巡視」を行い、職場ごとの業務にどのくらいの時間が掛かっているかなどを測定・分析し、改善につなげています。効率性、生産性を高めることで、休暇を取得しやすい環境にしています。

会社を支える溶接士に

島田さん チタンやステンレスの溶接は難しい仕事ですが、業務の手順を動画や写真で効率的に理解できる環境が整っているほか、メンター（指導役）の先輩からの助言を受けることができ、自分の成長を実感できています。

趣味は「カメラ」と「車」。会社の福利厚生制度や休暇を利用しながら楽しんでおり、仕事も私生活も充実しています。



溶接大会に出場させていただいた経験を業務にも生かすことができ、やりがいを感じています

社員の島田 龍さん

認定制度の取り組みの効果もあり、過去20年間、入社3年以内の離職者なしです！

島田さんは、入社5年目で県の大会で準優勝したんですよ

常務取締役の玉巻 秀泰さん

島田さんの幸せ円グラフ

